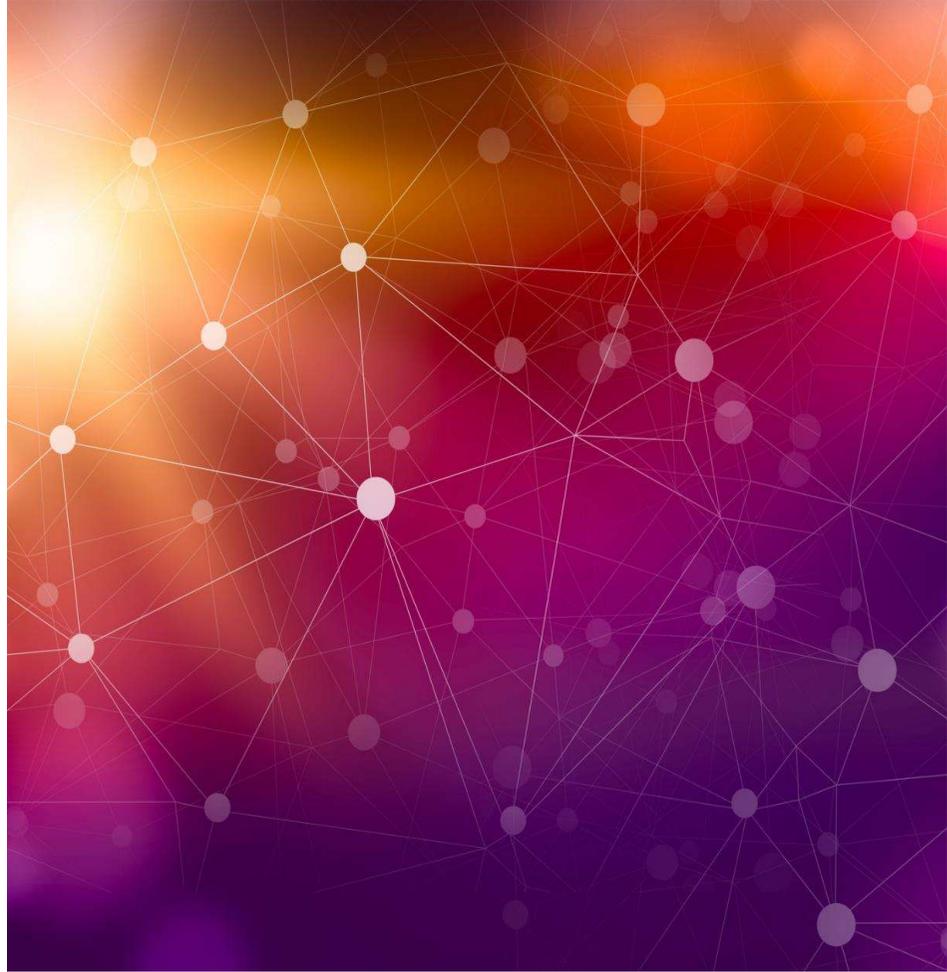




営業秘密保護推進研究会



近時の営業秘密漏洩 －傾向と事例－

2023年5月26日

橋口・松本法律事務所

弁護士・ニューヨーク州弁護士

松本慶



情報流出・情報漏洩の事例ー技術情報ー

代表的な事例1 ～新日鐵住金 v. ポスコ～

- ー 2012年4月方向性電磁鋼板に関する営業秘密と特許をポスコが侵害したとして、米ニュージャージー州の裁判所と東京地裁に提訴
- ー 2015年9月和解成立

なぜ提訴(できた)?

- 急速なシェア拡大
- 「証拠」: 韓国でポスコ元社員が中国に情報流出したとして逮捕。「ポスコではなく、新日鐵の技術」と主張。→証拠保全手続へ。

情報流出・情報漏洩の事例ー技術情報ー

代表的な事例2 ～東芝 v. SKハイニックス～

- 2014年3月 被疑者である元サンディスクの従業員逮捕、そして東芝が東京地裁に損害賠償請求訴訟を提訴
- 2014年12月和解成立
- 流出のきっかけ？
 - 東芝とサンディスクの共同研究⇒合併に関係していた者がハイニックスへ情報提供
- 刑事は懲役5年の実刑判決

1-1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

近時の傾向

—増加傾向

2022年は29件！

—対策の強化⇒端緒が増えた？

—意識の高まり⇒事件化？

—著名企業同士のものも。



1-1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

近時の事例1 ~ソフトバンク~

- 被疑者：2019年12月31日までソフトバンク、翌2020年1月1日より楽天モバイルに転職
- 被疑者、2019年12月に秘密情報にアクセスし、自らのメールアドレスに送信。内容としては、無線基地局の配置情報
- 2021年1月12日逮捕
- 2021年5月：ソフトバンク、楽天モバイルを提訴。不正競争防止法に基づく損害賠償請求。1000億規模。

1-1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

近時の事例1 ～ソフトバンク～

- 刑事事件：懲役2年、執行猶予4年、罰金100万円の判決（令和4年12月）
 - 「ファイルにはソフトバンクが長年にわたって構築したネットワークに関するものや、5Gへの切り替えを計画していた基地局の情報など、将来的な構想をうかがい知れる重要な情報が含まれていた」
- 民事事件：続報？
 - 転職と持ち出しのタイミング、共有ネットワークにアップロード、LINEで「機密情報を持ち逃げしましたので、ガッツリやりましょう！」
 - 損害額の立証？不正競争防止法5条の推定規定
 - 刑事記録の参照、証拠としての利用（刑事訴訟法53条、刑事確定訴訟記録法、更には民事手続のルート）

1-1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

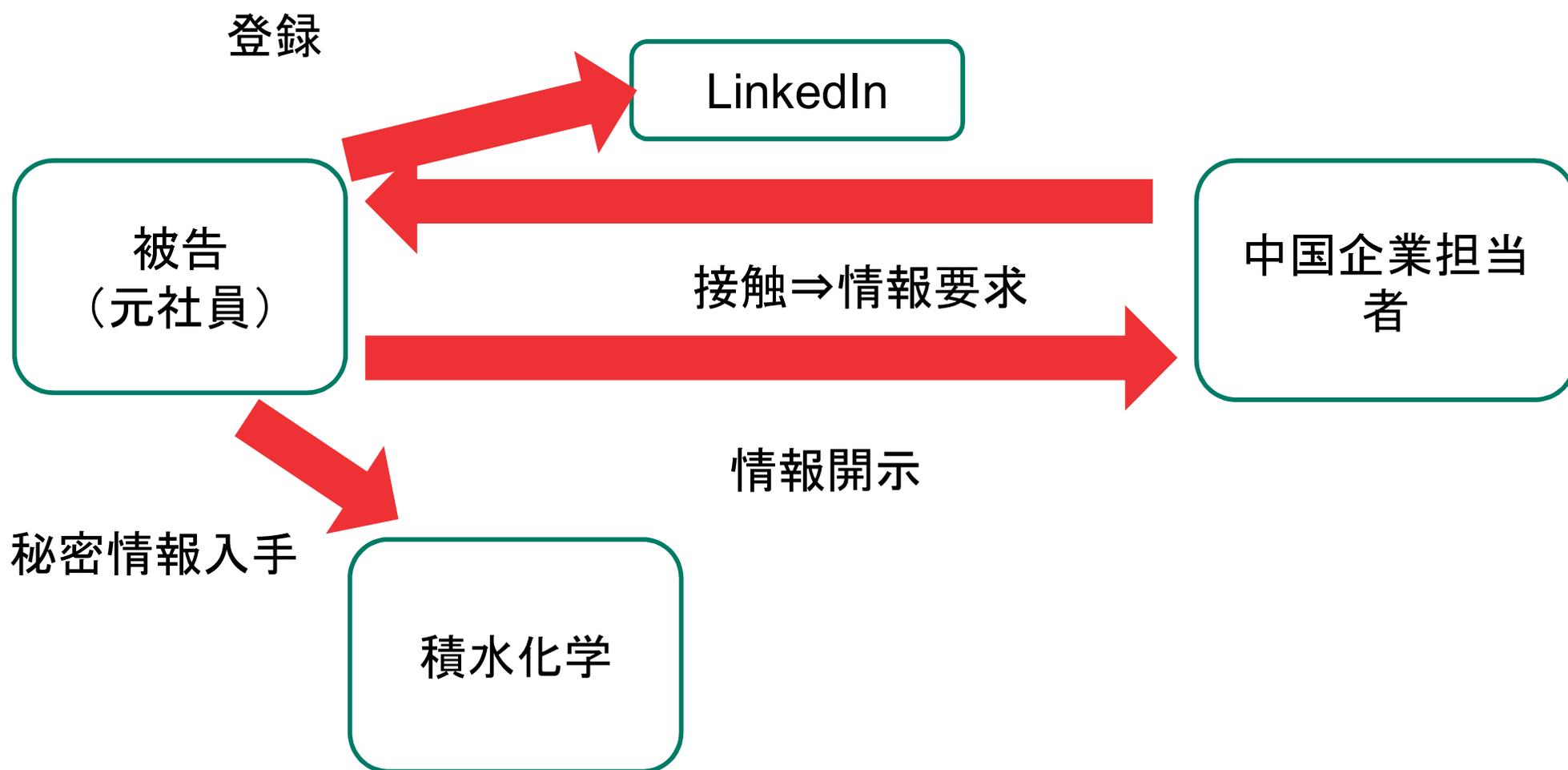
近時の事例1 ～ソフトバンク～

– 実務への示唆

- 退職者の取り扱い: PCのログのチェック、誓約書など
 - 以下、SBの再発防止策(SBウェブサイトより)
 - 情報資産管理の再強化 (管理ポリシーの厳格化、棚卸しとアクセス権限の再度見直し)
 - 退職予定者の業務用情報端末によるアクセス権限の停止や利用の制限の強化
 - 全役員と全社員向けのセキュリティー研修 (未受講者は重要情報資産へのアクセス不可)
 - 業務用OA端末の利用ログ全般を監視するシステムの導入
- 転職者の取り扱い: 秘密情報を持ち込んでいないか?
 - 意識の徹底とアップロードする情報のチェック
- 裁判実務: 損害賠償に関する点⇒特に推定規定の解釈、運用

1-1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

近時の事例2 ～積水化学～



1 - 1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

近時の事例2 ～積水化学～

- 経緯：LinkedInで接触⇒中国へ招待⇒非常勤顧問？
 - 2018年8月～2019年1月：スマホの液晶関連技術の漏洩
 - 2020年10月～立件
 - 2021年8月：懲役2年、罰金100万円、執行猶予4年
- ※裁判所は**具体的な損害はない**、とした。

1-1 情報流出・情報漏洩の事例—技術情報—

近時の事例3 ～はま寿司 v. かつぱ寿司～

—経緯: かつぱ寿司の田辺社長逮捕に至るまで

- 田辺氏、2014年～2017年にはま寿司取締役
- その後、グループ会社の社長
- 2020年10月ころ、各店舗毎の売り上げデータ、仕入れ値などのデータを持ち出し(アクセス権限のある元部下よりメールで受領)
- 2020年11月、田辺氏がかつぱ寿司顧問に。
- 2021年1月、はま寿司の社内調査にて営業秘密漏えいの発覚
- 2021年2月、田辺氏がかつぱ寿司社長就任
- 2021年7月、かつぱ寿司に対する搜索
- 2022年9月、田辺氏ら逮捕
- 2022年12月、第一回公判: 起訴内容認めている模様

退職直前が危ない?
競業避止義務はどう
なっていた?

1-1 情報流出・情報漏洩の事例ー技術情報ー

近時の事例4 ～双日～

ー経緯

- 2022年夏ころ、30代男性社員が競業他社より転職
- その後、転職元が営業秘密の持ち出しを疑い調査、その上で警察に相談
- 2023年4月、当該男性社員逮捕

1-2 情報流出・情報漏洩の事例—個人情報—

近時の傾向(東京商工リサーチ調べによる)

- 2022年は件数、社数とも過去最高
- 原因としては、ウイルス感染・不正アクセスが半分以上



情報漏えい・紛失事故件数 原因別



東京商工リサーチ調べ

連絡先

ご質問等、遠慮なくご連絡下さい！

Eメール：kei.matsumoto@hashilaw.jp

電話：03-6205-4868

<http://hashilaw.jp>

